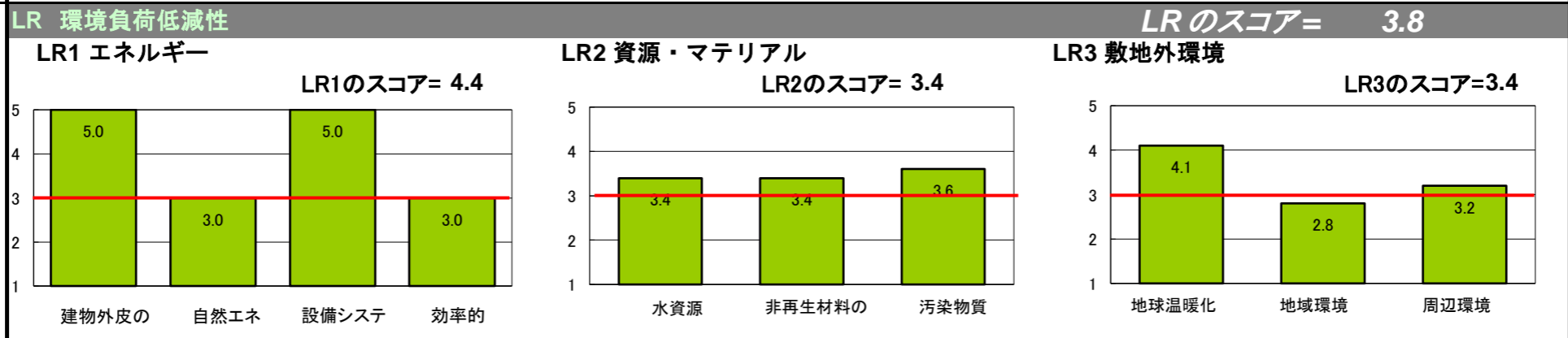
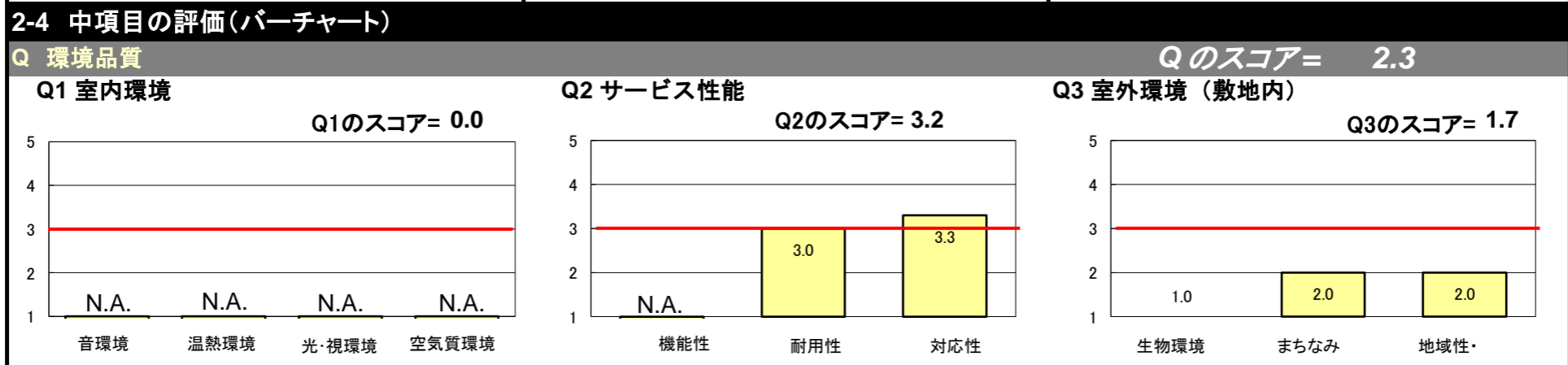
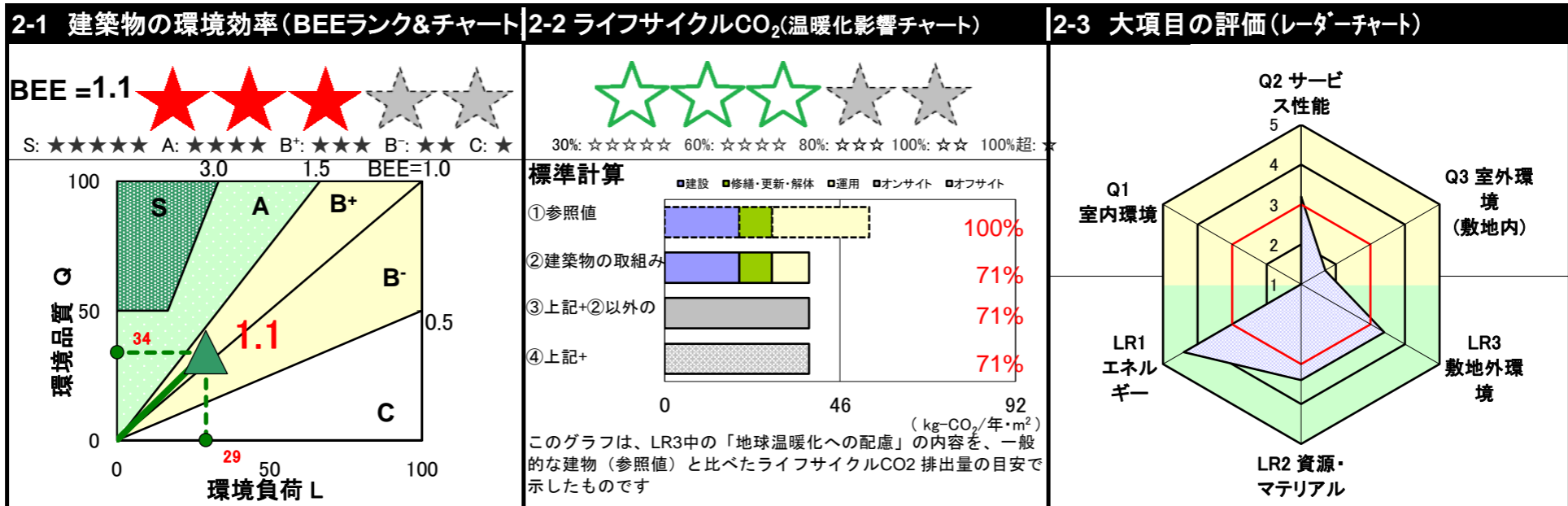
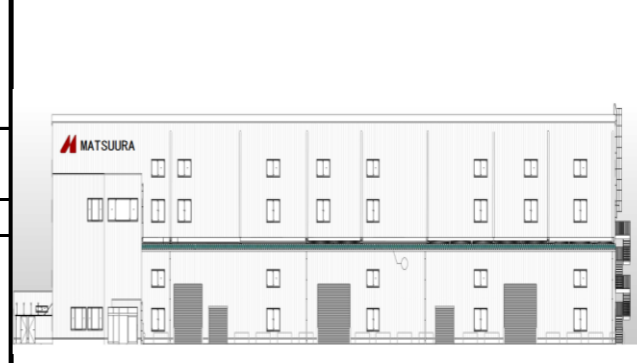


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	松浦梱包輸送株式会社 岡崎東口ジスティクスセンター	階数	地上2階
建設地	愛知県岡崎市榎山町字牧野14-1他	構造	S造
用途地域	なし	平均居住人員	100人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2021年7月 予定	評価の実施日	2020年7月25日
敷地面積	9,897 m <sup>2</sup>	作成者	金子 雅彦
建築面積	4,513 m <sup>2</sup>	確認日	2020年7月27日
延床面積	8,093 m <sup>2</sup>	確認者	金子 雅彦



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>4.1</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>9.9 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.2</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

- ①地球温暖化への配慮
- LR-3 1 地球温暖化への配慮
- ②資源の有効活用
- Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
- LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
- ③敷地内の緑化
- Q-3 1 生物環境の保全と創出

$$\text{外構緑化指数} = \frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$$

$$\text{建物緑化指数} = \frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$$



スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部						住居・宿泊部分		全体	
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄				評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	全体	
		Q 建築物の環境品質											
Q1 室内環境												-	
1 音環境												-	
1.1 室内騒音レベル					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
1.2 遮音												-	
1 開口部遮音性能					-	-	-	-	-	-	-	-	
2 界壁遮音性能					-	-	-	-	-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	-	-	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	-	-	-	-	-	-	
1.3 吸音												-	
2 温熱環境												-	
2.1 室温制御												-	
1 室温					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
2 外皮性能					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
3 ゾーン別制御性					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御												3.0	
2.3 空調方式												3.0	
3 光・視環境												-	
3.1 昼光利用												-	
1 昼光率					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
2 方位別開口					-	-	-	-	-	-	-	-	
3 昼光利用設備					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
3.2 グレア対策												-	
1 昼光制御					5.0	-	-	-	-	-	-	-	
3.3 照度												3.0	
3.4 照明制御												3.0	
4 空気質環境												-	
4.1 発生源対策												-	
1 化学汚染物質					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
4.2 換気												-	
1 換気量					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
2 自然換気性能					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
4.3 運用管理												-	
1 CO <sub>2</sub> の監視					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
Q2 サービス性能												-	
1 機能性												0.43	
1.1 機能性・使いやすさ												-	
1 広さ・収納性					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
3 バリアフリー計画	独自				3.0	-	-	-	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性												-	
1 広さ感・景観 (天井高)					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
3 内装計画					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
1.3 維持管理												-	
1 維持管理に配慮した設計					3.0	-	-	-	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保					-	-	-	-	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性												0.5	
2.1 耐震・免震・制震・制振												3.0	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					0.4	3.0	0.48	-	-	-	-	-	
2 免震・制震・制振性能					3.0	3.0	0.80	-	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数												0.20	
1 躯体材料の耐用年数					0.3	3.8	0.33	-	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②			耐用年数30年以上の仕上げ材を使用	-	3.0	0.23	-	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				内装仕上げの更新間隔:11年以上20年未満	-	5.0	0.23	-	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					-	4.0	0.09	-	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					-	3.0	0.08	-	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				主要上位3種のうち2種以上B以上使用、Eは不使用	-	5.0	0.15	-	-	-	-	-	
2.4 信頼性												0.19	
1 空調・換気設備					0.1	2.0	0.19	-	-	-	-	-	
2 給排水・衛生設備					3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	
3 電気設備					3.0	2.0	0.20	-	-	-	-	-	
4 機械・配管支持方法	②				3.0	1.0	0.20	-	-	-	-	-	
5 通信・情報設備					3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	
					3.0	1.0	0.20	-	-	-	-	-	

3 対応性・更新性			0.4	3.3	0.48	-	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			0.3	4.2	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	-	5.0	0.60	-	-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	3.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31	-	3.0	-	
3.3 設備の更新性			0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性	②	-	3.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.57	-	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出		独自③	-	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	-	2.0	0.40	-	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	2.0	0.30	-	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④	-	2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	-	0.40	-	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI <sub>m</sub> =0.71	3.0	5.0	0.20	-	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	3.0	0.10	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI <sub>m</sub> =0.38	3.0	5.0	0.50	-	-	-	5.0
4 効率的運用			0.2	3.0	0.20	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			1.0	3.0	1.00	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	-	0.30	-	-	-	3.4
1 水資源保護			0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水		節水コマ・節水型便器を採用	3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	3.4	0.63	-	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減		② 独自	-	2.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.25	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.21	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			NSシート(床)	3.0	3.0	0.21	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体と仕上げ材が分別可能。再利用できるユニットを使用	3.0	5.0	0.25	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.6	0.22	-	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	4.0	0.68	-	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材を使用していない	-	5.0	0.50	-	-	-	
3	冷媒		3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	-	0.30	-	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		①	-	4.1	0.33	-	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			0.3	2.8	0.33	-	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			-	3.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			-	3.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	2.5	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減	独自	-	3.0	0.25	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25	-	-	-	
3	交通負荷抑制	独自	-	3.0	0.25	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		-	1.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮			0.3	3.2	0.33	-	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	騒音	独自	-	3.0	0.50	-	-	-	
2	振動	独自	-	3.0	0.50	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制		-	3.0	0.70	-	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		-	3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制			0.2	4.4	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害・広告照明チェックリストが過半数を満たしている	-	5.0	0.70	-	-	-	
2	屋光の建物外壁(による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30	-	-	-	

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>4.1</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.1	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.2</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:9.9%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)		<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

# ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 松浦梱包輸送株式会社 岡崎東ロジスティクスセンター

計画上の配慮事項	
総合	耐用年数の長い部材や節水器具の採用、部材の再利用や発泡剤を用いない 断熱材を使用する等資源保護や環境に配慮した設計
Q1 室内環境	対象外
Q2 サービス性能	外装仕上材・内装仕上材共に耐用年数の長い物を使用
Q3 室外環境(敷地内)	なし
LR1 エネルギー	BPI <sub>m</sub> =0.71/BEI <sub>m</sub> =0.38
LR2 資源・マテリアル	節水器具を採用し水資源保護に配慮し、部材の再利用や発泡剤を用いない 断熱材を使用
LR3 敷地外環境	LCCO <sub>2</sub> 排出率=56%
その他	なし